



3 広報の仕事を経験！

志布志高等学校1年生の6人が職場体験に役場を訪れました。
 今回は、「広報の仕事とは」をテーマに、広報誌の作り方、写真の撮り方などを説明しました。
 高校生の視点で大崎町をPRしてもらおうと、PRポスターを作成することとなり、生徒たちは、PRしたい場所の写真撮影やコメントに関する取材などを行ない、ポスターにまとめました。
 完成したPRポスターは、役場ロビーに展示してありますので、ぜひご覧ください。

4 ホタルの乱踊を願って！

12月11日(土)、岡別府地区の湧水地でホタルの幼虫の放流会を行いました。
 持留小児童・保護者、地域住民、持留岡別府地域保全協議会のメンバーらは、消えつつあるホタルを守ろうと平成21年に『ホタルの会』を結成し、5月に捕獲したホタルから産卵・ふ化させ集中飼育セットで育ててきました。
 会員は150匹の幼虫を、今年5月に光を放ちながら飛び回る姿を願って、清流に放ちました。

1 地域特産品開発に大きく貢献！

福元シカさん(仮宿下集落)が平成22年度の農山漁村活動功労者に選ばれ表彰されました。
 この賞は、福元さんが生活改善グループ活動を通じて、長年、地域農産物の加工指導に取り組むとともに、『大崎町生活改善グループ』を結成し、初代会長を努めるなど、地域特産品の開発に大きく貢献された功績が称えられたものです。

2 大崎町の子どもの育ちを考える！

12月13日(月)、中央公民館において、町主催の『大崎町の子どもの育ちを考える学習会』が、開催され町内外から、子供の教育に携わる保育士、幼稚園教諭等が集まりました。
 講師に、鹿児島大学大学院の土岐篤史准教授を迎え、『発達と発達支援を考える』と題した講話が行なわれました。
 自閉症をはじめとする広汎性発達障害や注意欠陥多動性障害(ADHD)などの発達障害の理解について学びました。
 参加した130人は、最後に「子どものことが大好きなら頑張ろう！」と誓い合って終了しました。